

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療整備課
 担当名: 在宅医療推進担当
 内線: 3545 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B26	ICTによる医療・介護連携ネットワークの構築			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	地域医療連携推進事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	無し				戦略項目	03 医療の安心	
							分野施策	050201 ITを活用した県民生活の利便性の向上	
1 事業の概要 多職種・多施設が連携して、在宅療養患者を支援するために、在宅医療連携拠点ごとに在宅医療・介護関係者による連携ネットワークを構築する。				5 事業説明 (1) 事業内容 在宅医療を支えるためには、医師、訪問看護師、ケアマネージャーなどの多職種と、診療所、病院、介護施設などの多くの施設のスタッフで在宅療養患者の情報を共有し、連携して患者を支援することが不可欠である。 そのためICTを活用した医療・介護連携ネットワークの構築に係る経費を郡市医師会に対して補助する(患者情報共有システムの導入経費・維持管理経費等)。 患者情報共有システムには、患者に関する基本情報や日々の療養に関する状況などを関係者が患者を訪問する都度、更新、書き込みし、関係者間で患者の情報共有を図る。 平成28年度は、早期に導入を希望する20郡市医師会にシステムを導入する。 【掲載情報】 ① 患者基本情報(例) 名前・性別・生年月日・保険情報・家族情報(同居家族、主な介護者)日常生活動作など ② 患者の情報共有に必要な書類(例) 在宅療養支援ベッド利用申請書、訪問看護指示書など ③ 日々の患者の情報(例) 「じょく創が悪化しました」「すぐに診察します」「痛み止めが効いていないみたいです」「処方の変更を検討します」 ※ 画像やPDFなどもシステムに添付することができるため、様々な情報の共有が可能。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業主0				(2) 事業計画 平成28年度 20郡市医師会 平成29年度 30郡市医師会					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 ネットワーク上で在宅療養患者の情報を共有することで多職種・多施設連携が効率化し、患者に提供する在宅医療の質が向上する。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500×3人=28,500千円				(4) 補正予算の概要 医療・介護連携ネットワークのシステム構築に係る経費の節減に伴う減額。					
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△156,326	繰入金	△156,326					0	16,648
現計額	172,974		172,974					0	